

2025年1月26日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**  
第67巻第44号(通算3426号)  
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう  
**週報**

教会標語

小さくされている人を  
大切にする教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

神はこの世を大切に思い、ひとり子を差し出した。ひとり子に信頼をもってあゆみを起こす人が  
みな、滅びることなく、永遠のいのちを得るようになるためである。(ヨハネによる福音書3:16)

かわちちくゆうしきょうかいこうだんこうかんれいはい  
**河内地区有志教会講壇交換礼拝**  
こうたんせつ だい しゅじつれいはい  
**(降誕節 第5主日礼拝)**

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をして頂きます》

ぜんそう もくとう AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

まね ことば しへん 29編 2節

さんびか ばん かぜ おか 21-57番「ガリラヤの風かおる丘で」(©JASRAC)

せいしよ ふくいんしよ しょう せつ 5章 1-9節

いの お祈り うしだ ただし ぼくし 牛田 匡 牧師

さんびか ばん きゅうこん なか 21-575番「球根の中には」(©JASRAC)

メッセージ 「君の目的は。」 や おきょうかい いけだ ゆき ぼくし 八尾教会・池田 優希 牧師

さんびか ばん う ひと 21-486番「飢えている人と」(©JASRAC)

しゅいの ばん てん ちち さんびかかいていいんかい 21-62番「天にいます わたしたちの父」(©讚美歌改訂委員会)

たんじょうしゃしゆくふくしき うしだ ただし ぼくし 誕生者祝福式(\*) 牛田 匡 牧師

ささげもの ばさげもの (\*\*)

はけん ばん かみ めぐ う せつ 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

しゆくふく いけだ ゆき ぼくし 祝福 池田 優希 牧師

こうそう アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

ほうこく (4頁をご参照ください)

《席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* みんなで1月にお生まれになった方をお祝いします。

\*\* 「献げ物(献金)」は、受付にある献金箱にお献げください。

招きの詞 詩編 29 編 2節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

御名の栄光を主に帰せよ。

聖なる装いで主にひれ伏せ。

聖書 ヨハネによる福音書 5章 1-9節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>1</sup>その後、ユダヤ人の祭りがあったので、イエスはエルサレムに上られた。<sup>2</sup>エルサレムには羊の門のそばに、ヘブライ語で「ベトザタ」と呼ばれる池があり、そこには五つの回廊があった。<sup>3</sup>その回廊には、病気の人、目の見えない人、足の不自由な人、体の麻痺した人などが、大勢横たわっていた。<sup>a</sup> [<sup>4</sup>彼らは、水が動くのを待っていた。ある時間になると、主の天使が池に降りて来て水を動かしたので、水が動いたとき、真っ先に入る者は、どんな病気にかかっているにもかかわらず、良くなったからである。] <sup>5</sup>さて、そこに三十八年も病気で苦しんでいる人がいた。<sup>6</sup>イエスは、その人が横たわっているのを見、また、もう長い間病気であるのを知って、「良くなりたいか」と言われた。<sup>7</sup>病人は答えた。「主よ、水が動くとき、私を池の中に入れてくれる人がいません。私が行く間に、ほかの人が先に降りてしまうのです。」<sup>8</sup>イエスは言われた。「起きて、床を担いで歩きなさい。」<sup>9</sup>すると、その人はすぐに良くなって、床を担いで歩きだした。

その日は安息日であった。



## 《先週のメッセージより》2025年1月19日

「私と一緒に来てください」

牛田匡牧師

聖書 マタイによる福音書 4章 18-25節

今回の聖書のお話は、イエス様が最初の弟子たちとして、4人の漁師を選ばれたお話でした。イエス様に声をかけられた4人は、潔く「網を捨て」(20)、「舟と父を残して」(22) イエス様に従ったと、ここではまるで優等生のように描かれています。しかし、この後に記されている弟子たちの姿は決して格好いいものではなく、イエス様が逮捕されると怖くなって逃げ出し、嘘をつくような情けない者たちでした。そんな彼らをイエス様はどうして選ばれたのでしょうか。先週はイエス様がヨルダン川でヨハネから洗礼を受けたお話を読みました。神殿で定められた祭儀を繰り返し行うことで救われる、という旧来の教えとは異なり、エルサレムの丘から低く低く下ったユダヤの荒野で、そこに流れるヨルダン川に沈み込む「たった一回の洗礼によって、生き方が転換される」と伝えたヨハネは、多くの人々に受け入れられ、イエス様もその教えに共感し、そこに神様の御心があると確信して、洗礼を受けられました。しかし、その後、ヨハネを煙たく思った時の権力者たちによって、彼は逮捕され投獄されてしまいました。イエス様は師の逮捕に困惑しつつも、南部のユダヤ地方から、出身の北部ガリラヤ地方へと身を隠すように退いていかれたのではないかと思います。

イエス様はガリラヤにて、「天の国は近づいた」「神の国はもうすぐそこまで来ている」(17)と福音の宣言をされつつ、内心としては、神様の御心への確信がありながらも、一方では心中穏やかではない、不安や恐怖心もあったのではないかと想像します。故郷のガリラヤ地方で、宣教活動を始められた時に、イエス様が弟子たちを必要とされた理由。それはイエス様の活動が、決して独りでは出来ないものであった、共に働く仲間が必要だったということであり、また一緒にいてくれる友がいるからこそ、心強く歩むことが出来たということであったのではないのでしょうか。イエス様が弟子たちに言われた「私に付いて来なさい」とは、上から下への命令ではなく、むしろ「私と一緒に来てください。そうしたら心細くないから」と懇願するような言葉だったのかもしれない。神の国は、決して一人で実現出来るものではありません。隣にいて、共に働いてくれる友がいてこそ、出来ることです。私たちは一人ではありません。私たちがまた「一緒に来てください」「一緒にやってみてもらえませんか」と隣の人に声をかける事を通して、今日も神様からの招きに応えて参ります。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 2025年1月19日

礼拝出席 大人7名 子ども3名 献金 大人6,000円 中継視聴者数11回 感謝さんとさんが、初めて来会されました。

礼拝後に、釜ヶ崎のための「おにぎり支援」として、皆で180個のおにぎりを作り、いこい食堂にお届けしました。西成警察署裏の四角公園がまだ改修工事中で立ち入れないために、食堂前の道路にて130人を超える方々に、おにぎりをお渡しさせて頂きました。どうもありがとうございました。

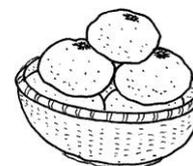
◎次週 2025年2月2日(日) 降誕節 第6主日礼拝

招きの詞 詩編 84編 6-8節

聖書 マタイによる福音書 21章 12-17節

メッセージ 「子どもの目に映るもの」牛田匡牧師

賛美歌 21-307番(©出版局)、21-434番(©讚美歌委)、21-11番(©JASRAC)



◎お知らせ

・本日の礼拝は河内地区有志教会の「講壇交換礼拝」として、八尾教会(八尾高校・隣)の池田優希牧師が来られました。どうもありがとうございました。久宝教会からは水谷牧師が枚岡教会(東大阪市)に伺いました。礼拝後の午後、本日14時から、久宝教会を会場にして、河内地区有志教会女性会が開催されます。短い礼拝とお茶、簡単なクラフトなどを行います。「女性会」という名称ですが、どなたでも参加歓迎ですので、どうぞご参加ください。

・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページに掲載しています。また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。

・2月11日(火)15時~17時にかけて天満教会にて、「信教の自由を守る日2・11集会」が開催されます(大阪教区主催)。講師は栗原康さん(東北芸術大学非常勤講師)で演題は「天皇制と権力の脱構築」です。参加費は無料です。会場での対面参加の他、ZOOMによるオンライン参加も可能です。オンライン参加希望の方は、2月9日までに、下記のメールアドレスにお名前・教会名(所属)・メールアドレスをご記入の上、山下壮起委員長宛てにお申込みください。

uccj.osaka.2.11@gmail.com

◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
2/2	牛田匡牧師	ユークリット・教会を考える会
2/9	永富美加牧師 (いずみ教会)	(信教の自由を守る日) 「労働日」講壇交換礼拝
2/16	水谷憲牧師	
2/23	牛田匡牧師	誕生者祝福式・おにぎり支援? 河内地区壮年会 14時半~16時 (@枚岡教会)

# 2.11集会

信教の自由を守る日

対面または ZOOMによる オンライン参加

2025. 2. 11 火 15:00-17:00

参加費: 無料

日本基督教団天満教会 大阪府大阪市北区天神西町4-15

## 「天皇制と権力の脱構築」

講師 栗原康さん(東北芸術工科大学非常勤講師)

プロフィール: 栗原康(くりはらやすし)1979年、埼玉県生まれ。アナキズム研究。東北芸術工科大学非常勤講師。著書に『幸福秋水伝』(夜光社)、『超人オイチンゲル』(医学書院)、『大杉栄伝』(角川ソフィア文庫)、『おにぎり火つけ、白痴になれ』(岩波現代文庫)、『死してなお踊れ』(河出文庫)、『無支配の哲学』(角川新書)、『サボる哲学』(NHK新書)、『アナキズム』(岩波新書)など。ビール、長瀬剛、河内音頭が好き。

「天子金もち、大地主。人の血をすふ、タニがおる。これは一九一一年、大逆事件で吊るされた仏教アナキスト、内山愚童のこぼれ。明治政府によって発明された近代天皇制。宗教よろしく、みずから神の子孫と名のり、万物の始原そのものであると言っている。この国のものはすべて朕のもの。徴税、徴兵あたりまえ。タニだ、一大取替者だ。だけれど、その天皇の名のもとに、戦争でひとを死なせ、工業化をすすめ、自然を破壊し、農村を疲弊させ、民を飢えさせても天皇制はゆるがな。いまの政権はいらないという声が強くなって、その根拠とされるのが天皇制なのだ。万物の始原にたちかえり、既存の法秩序にとらわれずに、あらたな権力を発動していく。まっさらな状態から新秩序を構成していく。天皇制は構成的権力のトリガーなのだ。わたしたちは、そんな権力の回路から抜け出すことができるだろうか。権力者コノヤローといって、仲間とつるんで政治的になれるほど、身近なところに権力がなくなっていく。支配のない共同の生が紡がれていく。権力の脱構築を思考しよう。明治大正期のアナキストのこぼれをつかいつつながら、そんなお話ができたらとおもいます。」

<zoom配信申込みについて>

Zoom参加の方は、お名前・教会名(所属名)・メールアドレスをご記入のうえ、e-mailにて山下壮起委員長宛、2月9日(日)までにお申し込みください。集会前日までに招待メールをお送りします。  
【申込先】 uccj.osaka.2.11@gmail.com

※大阪教区の申し合わせにより、集会開始の3時間前から開始時刻の前に、大阪府(大阪市)に緊急避難(大雨・洪水・大雪・暴風・暴風雪・濃霧)が発生された場合は、集会中止いたします。また、4時間前から開始時刻までに解除された場合は中止いたします。予めご了承ください。

主催: 日本基督教団大阪教区 担当: 日本基督教団大阪教区「教区と天皇制」を考える特別委員長